



Washington Japanese Language School

ワシントン日本語学校

はなみずき

mail:wjls@wjls.org <http://www.wjls.org/>

2023年5月13日発行 第6号

ワシントン日本語学校

[ワシントン日本語学校事務局]

HOT LINE (301)962-7415

TEL (301)962-7410

FAX (301)962-7411



体験的な活動を大切に

校長 三原 洋一

先週の子どもの日に、読売新聞の社説の中に次のような記事が載っていました。

「スマホをしまっ外に出よう」

今日は「こどもの日」だ。3年前に始まったコロナ禍で、子どもたちは「密」を避けるように教えられ、一時は友達と集まって遊んだり、遠くに出かけたりすることを我慢する日々が続いた。

この間、子どもたちとデジタルの距離は急速に縮まった。全国の小中学生に1人1台のタブレット端末が配られ、学習でインターネットを利用する場面が増えた。

外出自粛の影響もあり、自宅でスマホを使い、ゲームや動画を楽しむ機会も増えた。内閣府の調査では、1日5時間以上ネットを使う割合は、

中学生で36%、高校生は50%を超える

に至っている。

(令和5年5月5日 読売新聞より一部抜粋)



何より驚いたのは、1日5時間以上ネットを使う中高生の割合の高さです。授業で使う時間を含めればそのくらいになるのかとも思いますが、心や体の健康を考えたときに危険な数字だと思いました。

本校の子どもたちはどうなのでしょう。実態調査をしていないので何とも言えませんが、デジタル空間から離れて実際に体を動かしたり、自然や文化に直接触れたいことを大切に、豊かな感性を育ててほしいと願っています。

しかしながら、国語や算数・数学を中心に教育課程を組んでいる本校では、十分に体験的な活動ができていとは言えません。先週号でお話したように、学校では限界のある生活体験や社会体験、自然体験等を、このアメリカ合衆国という地の利を生かして、家庭で可能な範囲で行ってみてください。間違いなく学びの習慣づくりの基盤にもなり得ると考えます。

前任の日本の小学校でも中学校と連携して、テレビやスマホを見ないで、読書などをして家族で一緒に過ごそうという週間をつくっていました。我々大人もスマホやタブレットを置いて家族で話し合い、時には思い切って『脱スマホ』の時間をつくってはいかがでしょうか。



4年ぶりの『あいさつ運動』

～生徒会活動～

生徒会活動の朝のあいさつ運動が始まりました。どの子も元気よくあいさつを交わしていました。大きな声で朝のあいさつをすると本当に気持ちのよいものです。委員たちのあいさつに応えてくれる児童・生徒だけでなく、保護者の皆様からのお声掛けもありました。

中には、立ち止まり、WJLSの学校の7ルールをひとつずつ読む児童や保護者もおられて、生徒会の委員は、ポスターの効果に手応えを感じていました。

4年ぶりに復活し、生徒会の最初の活動ということもあり、生徒会の委員たちの意気込みが伝わってきました。

13日には、メンバーが変わりあいさつ運動を行います。ワシントン日本語学校にあいさつと笑顔の輪がどんどん広がって行ってほしいと思います。



新緑がまぶしい季節になりました。

避難訓練（トルネード発生時）

今回の訓練は、モンゴメリー郡から Tornado Warning があつたという想定の下に行いました。トルネード発生時の避難経路や集合場所、避難の方法を各学年で確認を行いながら避難をしました。

トルネードの被害に遭遇する確率は高くないかもしれませんが、最悪の事態を想定して訓練を重ねることは大変重要であると考えます。

なお、本年度に実施する避難訓練は以下のとおりです。今後も危機意識をもち続け、子どもたちの安全・安心のために様々な事態に適切に対応していきたいと思います。

- ① 所在不明者対応訓練 4/22
- ② 不審者侵入対応訓練 4/29
- ③ トルネード発生時対応訓練 5/6
- ④ 火災発生時対応訓練 6/3

